

Climate Youth Japan

COP23派遣事業報告



京都議定書誕生20周年記念講演会
2017年12月3日(日)



アウトライン

1. Climate Youth Japanとは？
 - ①国内アドボカシー事業
 - ②サステナリンピック事業
 - ③COP派遣事業
2. COP23派遣事業
3. まとめ



CYJの活動意義

Our Vision

ユースが気候変動問題を解決へ導くことで、
衡平で持続可能な社会を実現する

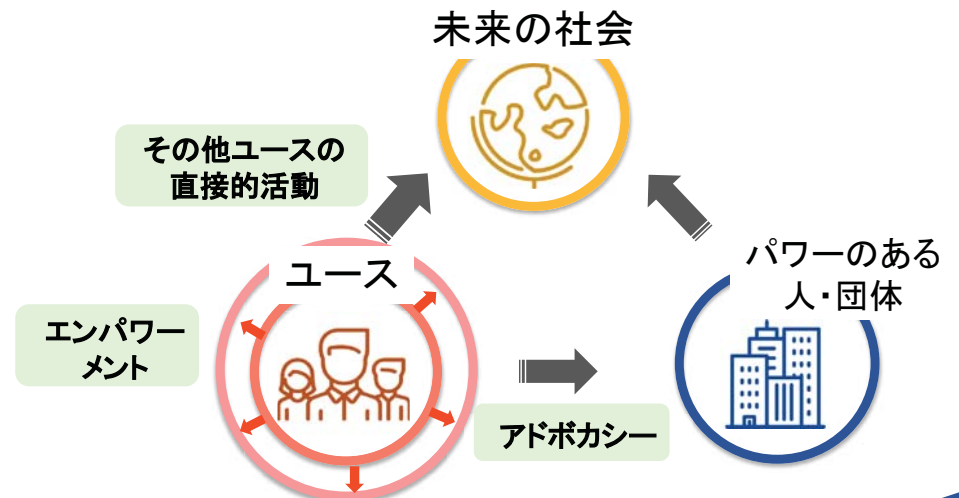
Our Goal

2°C/1.5°C目標の達成
ユースが社会の意思決定プロセスに関わるようになる

Our Purpose

持続可能で平衡な社会を実現するため
(日本は出遅れている)
:
CYJ以外に気候とユース参画をテーマに活動する
団体がない

CYJのミッション



CYJの活動 | 1.国内アドボ 2.COP派遣 3.サスティナリンピック



気候リーダー育成

気候変動枠組条約締約国会議 (COP)への派遣

意見発信

声明文の作成・提出 (環境省・外務省・経産省)



ネットワーク構築

海外及び国内の 環境団体との協働

関心向上

様々な ワークショップ の開催

CYJの活動 | ①国内アドボカシー

2015

環境省
外務省

2016

環境省
経産省
CLP
中環審

2017

環境省



CYJの活動 | ②サスティナリンピック事業

2017年2月

Sustainlympics事業部
キックオフイベント

4月

SUSPON加盟
3プロジェクトの発足



SUSTAINALYMPICS



持続可能なスポーツイベントを実現する
NGO/NPOネットワーク
Sustainable Sport NGO and NPO Network

CYJの活動 | ③COP派遣事業



MARRAKECH 2016
COP22 | CMP12 | CMA1
UN CLIMATE CHANGE CONFERENCE



@ジャパン・パビリオン



企業インタビュー



COP23 FIJI
UN CLIMATE CHANGE CONFERENCE
BONN 2017



@韓国・パビリオン



ユースアクション



YDP

COP23派遣事業

2017年3月 チーム結成 5月 ボン会議NT 6月 CYJ合宿 9月 COP強化合宿 **11月 COP23派遣** 12月～2018年1月 報告会



COP23派遣事業メンバー

■派遣組

高橋美佐紀 (公立鳥取環境大学4年)
塚本悠平 (関西大学4年)
黒田琴絵 (UNEP北西太平洋地域海行動計画[NOWPAP]地域調整部 富山インターン)
佐藤姫香 (信州大学4年)
清間笑奈 (京都大学3年)
松本健太 (創価大学3年)
杉浦由佳 (東京大学4年)
今井絵里奈 (神戸大学3年)

■国内組(COP24派遣メンバー)

堀克紀 (慶応大学1年)
宮川健太郎 (横浜市立大学4年)
今井絵里菜 (神戸大学3年)

COP23派遣事業

①情報発信

-SNSでの発信、インタビュー、報告会等

②ネットワーキング

-海外ユース、日本の行政、メディア等

③ワークショップ開催、イベント発表

-COY13、ジャパンパビリオン、韓国パビリオン、CSP

④アドボカシー

-Youth Delegation Program

COP23派遣事業 | ①情報発信

<目的>

1. CYJの活動の認知を広める



『気候変動問題に関心はあるが行動
まではできていないユース』が
主体的な行動を起こせるよう啓発する

2. 気候変動に関する情報提供

Climate Youth Japan (CYJ)さんが写真3件を追加しました。
作成者: Katsutoshi Horii | 11月10日 23:29

こんにちは。COP事業です👋
COYも終わり、とうとうCOP23開幕しましたね👏。COPは、1995年ドイツのベルリンにて、メルケル環境大臣（現メルケル独首相）を議長として、始まりました。では、COPって二十数回も聞いて何話してるの？今回は何するの？ってみんな思いますよね。今までどんなこと話してきたか軽く振り返って、今年の争点についてみていきたいと思います👏
まずは、あの京都議定書で有名なCOP3（1997）についてです。これは、歴史的に二酸化炭素を排出してきた先進国が、率先して排出削減していくべきだとする考えが反映されたもの。温室効果ガスを先進国が2008年から2012年までの間に1990年比で少なくとも5%、とりわけEUは8%、アメリカは7%、日本は6%の削減を約束することになります👏... もっと見る



インタビュー:フィジーの方

Climate Youth Japan (CYJ)
作成者: Kotoe Kuroda [?] · 11月24日 20:00 ·

★フィジーユースにインタビュー！★日本語訳は〜の後！
Roshil Kumarより母国の気候変動情報と日本ユース・スカウト向けのメッセージをいただきました。
彼の前向きさには勇気付けられます！
🇫🇯をはじめとする南太平洋の島国はサイクロン以外にも海面上昇、漁業などの被害を受けています。... もっと見る

So that together, we can achieve our future which should be bright for our kids and the future to come

CHOOSE REUSABLE CUPS AND BOTTLES

0:06



ユースアクション

Climate Justice!!



COP23派遣事業 | ②ネットワーキング

<目的>

- 1.日本の行政官・気候変動の専門家・メディアと意見交換や協働を行い、間接的に会議へ貢献する
- 2.国際会議での発表・キャンペーンを活発に行う海外ユースと交流し、現在の活動がさらに効果的な活動となるよう改善する
- 3.派遣者それぞれのキャリアにつながるネットワーキング



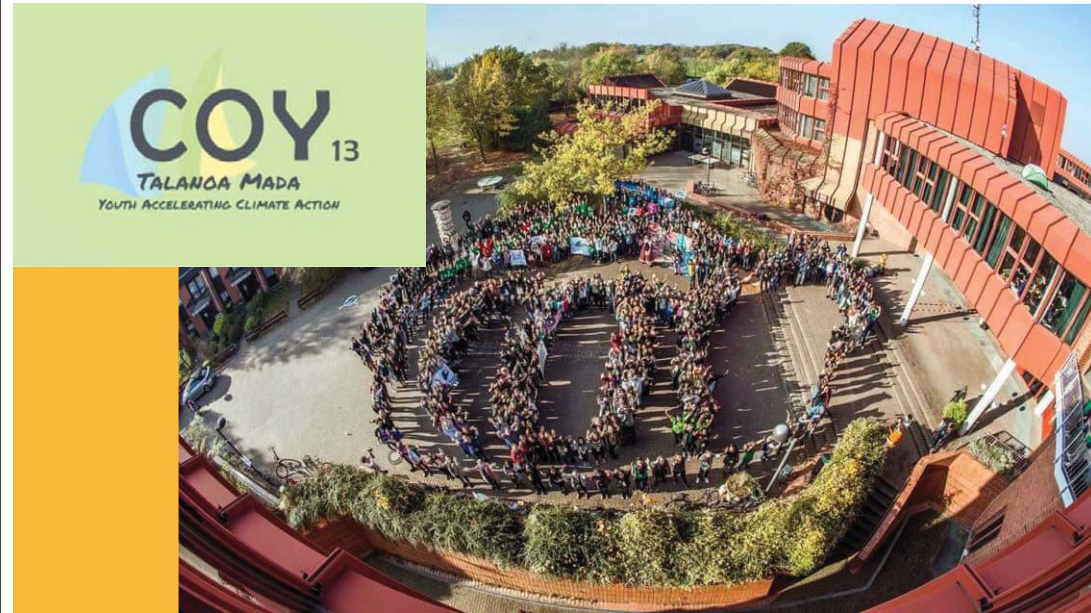
IRENA
International Renewable Energy Agency



COP23派遣事業 | ③ワークショップ開催、発表

<目的>

1. 海外の団体と連携する機会を得て、CYJの活動および日本の環境政策に関する動向を伝える
2. 海外ユースと連携し、日頃の活動をアウトプットする機会を設ける
2. サステナリンピック事業の活動を発表し、サスパラムーブメントを起こす



Asian Youth Climate Network

タイトル: Youths' Climate Actions in Asia



サイドイベント@韓国パビリオン

タイトル: Asian Youth Dialogue on the New Climate Regime and Youth Perspective

日本のNDCと、それに対する若者の見解について発表しました。現状の目標では不十分であることや行動を起こすことの重要性などを訴えました。パネルディスカッションでは、若者の声を効果的に届ける方法について議論し、CYJとしても良いものを得られました。



サイドイベント@ Climate Scorecard Project

タイトル: Achieving a Just Transition : Climate Change Mitigation Success Stories from Around the Globe

土地利用や建物に関してCO2削減に寄与している成功事例として、バイオマスによる先進的な熱利用を通して林業の再生とCO2の削減、地域活性を達成した岡山県西粟倉村の取り組みを紹介しました。

西粟倉のEV車の取組について詳しく知りたいとの質問があったり、プレゼン後には日本の地域の取組に関心があるという方が声をかけてくれました。

自分の発表が少しでも世界の人役に立っていると思うととても嬉しかったです。



主催ワークショップ@日本パビリオン

タイトル: サステナリンピックをはじめとした日本ユースのアクション
～若者の参画を問う～

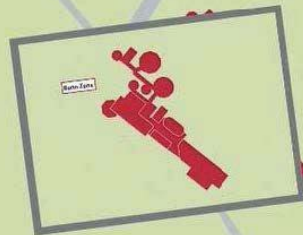


COP23派遣事業 | ④アドボカシー

Youth Delegation Programmとは?

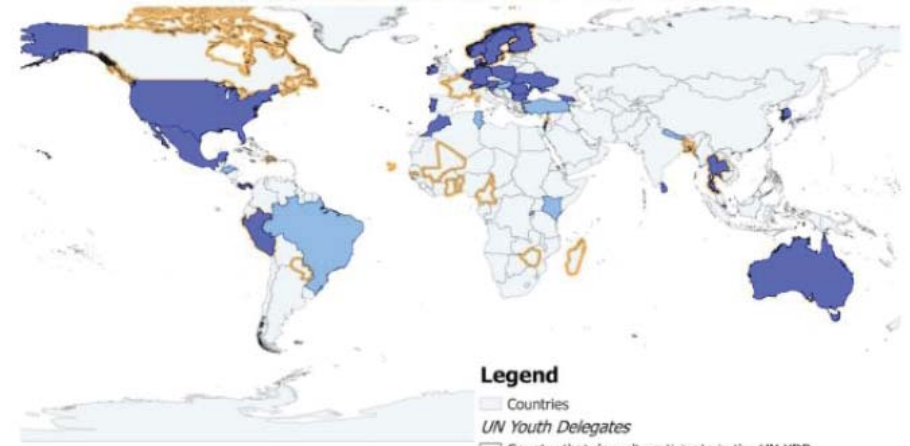


Bula Zone



Bonn Zone

Mapping Youth Delegates Programmes



海外YDPへのインタビュー

他国ユースや元政府団の方から、効果的なロビイング・アドボカシーの方法をインタビューを通じて伝授して頂きました。



まとめ

成果

課題

- ・海外ユースのようなアクションが足りない(記事発信、発表のみでは不十分)
- ・発信ツールの多様化
- ・交渉を迫る=難しい
- ・イベント企画、運営能力

展望

- ・報告会(鳥取、東京)でいかにエンワパメントできるか
- ・継続したCOP派遣、ジャパンパビリオンでの発表
- ・YDP:ピンクバッジの獲得

今年度末まで

- ・COP23 報告会(鳥取、東京)
- ・省庁意見交換会
- ・エネルギーワークショップ



ご清聴、ありがとうございました

今後ともよろしく願っています！

※この事業は平成29年度地球環境基金の助成を受けて実施しています

